

スカウト おおいた

第61号

2021年10月 1日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

スカウティング ネバーストップ

「スカウティングは、行うことによるのみスカウティング！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
プログラム委員長 光来出忠司



三指 日頃よりボーイスカウト大分県連盟のプログラムに対しまして、各団指導者、団委員、育成会、保護者の皆様のご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

令和3年度の県連盟プログラムは、7月22、23日（1泊2日）と8月8日に行われた『パイオニアリング』で始まりしました。5月から準備を開始し、3回の事前訓練（大型建造物の設計・作業工程、模型作り、結索訓練等）を行い、本番は3種類の「信号やぐら」を構築しました。訓練から本番までに1度でも集会に参加したベンチャースカウトは18名、その内9名がパイオニアリング章（技能章）を取得しました。

また、ベンチャースカウトは9月5日に『スカウトフォーラム』を初めてリモート形式で行いました。ディスカッションする中で、今後の自分達が行いたいSDGs（エスディージーズ）と関連させた活動を10項目挙げ、これから約半年間活動を行い、来年の3月21日のアフタースカウトフォーラムで活動報告をすることになりました。

今後の県連盟のプログラムは、10月10日に田ノ浦ビーチで『カプフェスティバル（テーマ：大分最強カプリンピック2021）』11月3日に由布市挾間町で『ビーバーフェスティバル（テーマ：オリ・パラ・ビバ）』、令和4年1月23日に別府市でボーイ隊対象の『スカウトフェスティバル（ハイク）』、令和4年3月21日には『大分県連盟合同ローバー隊上進式』『アフタースカウトフォーラム』と目白押しです。

コロナ禍で活動が制限される中、大分県連盟の各部門（ビーバー、カプ、ボーイ、ベンチャー、ローバー隊）はスカウト活動を止めることなく、「スカウティングは行うことによるのみスカウティング！」を実践していきます。

弥栄

大分県連盟におけるキャンプ等の実施にかかる留意事項について

新型コロナウイルスの感染状況（評価）が・・・

ステージ2へ

大分県は、9月22日の県感染症対策本部会議において感染状況が改善したとして、4段階のステージ評価を「3」（急増）から「2」（漸増）に引き下げました。ステージが「2」になるのは、8月16日以来、37日ぶりです。

今後、感染再拡大への警戒は緩めず、基本的な感染防止策（①手洗い②咳エチケット③マスクの着用④フィジカルディスタンスの確保「3密」の回避の徹底に努めていきましょう。

〈テントの利用〉

*ステージ2では、キャンプや宿泊をともなう活動は自粛する。

〈食事〉

*ステージ1、2では、「大分県の対応（別紙）」の“県内での会食”を参考に、十分な感染対策をとったうえで行う。

〈健康観察等〉

*参加にあたっては、事前の健康観察（毎日の体温測定、体調チェック：2週間を目安）行動記録を提出すること。

*当日の受付・入場にあたっては、必ず検温（37.5℃）のうえ手指消毒を施すこと。

パイオニアリング



- ☆実施日 *06.06 (日) リモート会議
 *06.20 (日) 構造模型づくり
 *07.04 (日) 事前訓練
 *07.22~23 ノロシ塔・信号塔
 *08.08 (日) ピラミッド塔

☆会場 大分市 大分縣護國神社
 ☆参加者 ベンチャースカウト18名
 (その内、9名がパイオニアリング章を取得)

ベンチャースカウトがリモート会議で打合せ
 直接会って製作する大型構造物を決定して
 設計・模型作りを進め、事前訓練を経てから
 いよいよ製作に取りかかりました。
 悪戦苦闘しながら完成した信号やぐら3基に
 達成感いっぱいでした！



令和3年度 パイオニアリング (信号やぐら)



追跡企画

「コロナ禍におけるスカウティング！」

- ①活動が自粛時期中・・・昨年より厳しい状況の中、どのような工夫をした活動に取り組めましたか？
- ②新型コロナウイルスの感染拡大が収束へ向かうのは時間がかかりそうな今、スカウティングをどう進めていくのか・・・？

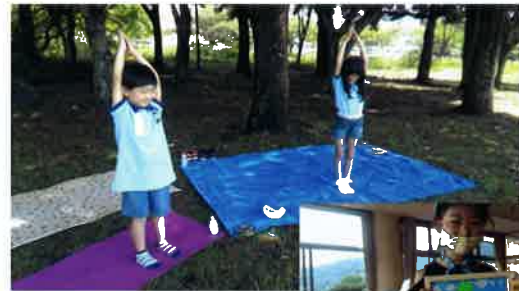
各団活動

中津第8団



「数年ぶりに復活したビーバー隊。スカウト4名とたくさんの活動をとっていますが、このコロナ禍の中、思うように活動は出来ずそんな中でも、ペットボトルでイカダを作ったり、科学実験で遊んだりしました。コロナ禍を悔やまず、工夫を凝らし、スカウト活動を楽しんでもらいたいと思います。」

別府第9団



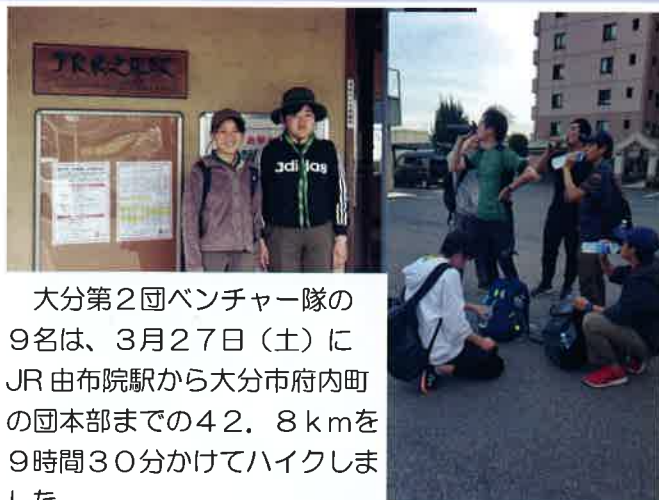
7月、岩登りや木登りが大好きなビーバー。ヨガの先生を見よう見まねで、でも少し離れて「木」のポーズ。

8月、工作「ひまわり畑」カエルが空にピョンと飛び出し、ウサギやパンダも元気いっぱい。集会自粛中は、ビーバーノートから「お片付け」「早ね早おき」等に家庭で取り組みました。

9月は、南立石公園での活動再開を楽しみにしています。

大分第1団





大分第2回ベンチャー隊の9名は、3月27日(土)にJR由布院駅から大分市府内町の団本部までの42.8kmを9時間30分かけてハイクしました。

スカウトが計画したコースは国道210号線を進み、JR久大線の各駅をチェックポイントとしました。写真は向之原駅が30キロ地点、南大分駅は最後の休憩地点で水分補給をしています。スカウトの感想は、気が遠くなる程きつかったが、仲間と一緒にゴール出来て達成感を味わったとのことでした。



大分第1回では、団総会を開催し年間の活動報告・決算報告を行いました。

併せて『保護者でカレーを作って食べよう会』をしあわせの丘にて開催し小さな子ども達と保護者が「一人一役」を担って参加しました。

初めてフライテントを張る方や薪で初めて御飯を炊いた方など一致協力してカレーを作って美味しく食べました。

コロナ禍でしたが、約束を守った中で初めてづくしの貴重な体験ができました。

大分第2回



出発地点の「ゆらりん驛」でハイチーズ!

大分第5回



8/6~8/10の予定でボーイ隊は長期キャンプを実施しました。

その中で8/8のプログラムで明野にある大分県社会福祉介護研修センターの見学に行ってきました。

担当の人から車いすの説明や注意点の説明を受けて実際に車いすの人がどんな目線でどんなことが不自由なのかが体験できました。

カブ隊・ビーバー隊は8/8に佐賀関で海水浴をしてきました。シュノーケリングやスイカ割りをしたりみんなで楽しみました。



大分第9団



7月のビーバー隊。11日に別府南立石公園でヨガ体験。別府9団、大分1団との合同集会でした。青空の下、仲間がいると楽しい。中村隊長、お世話になりました。

22日は護國神社。まずお参りをして、パイオニアリングの見学。先輩の姿に目標が少し見えたようです。カブと一緒にですが、別プログラムで実施しています。

大分第9団は、7月30日から8月1日の間、香々地青少年の家にて夏の合同隊キャンプを行いました。カブ隊の初日の活動は、付近散策と夕食のカレー作り、夜は星の観察を行いました。2日目の午前は、中山仙境の無明橋を目指して登山をしました。山の上から見る絶景と、心地よい風に、自然の雄大さを皆で共感しました。午後は筏遊びと海水浴、夕方は夜市とスイカ割で盛り上がりました。夜は夷谷温泉にゆっくりと浸かり、キャンプの疲れを取りました。3日目は、夏キャンプを意識した写真立ての工作と表彰式、閉会セレモニーを行いました。3日間とも晴天が続き、元気に笑顔でボーイスカウトらしい活動ができたことを、心より感謝しました。

今はコロナ禍により、思うように活動ができませんが、活動再開となった折には、「原点回帰」を合言葉に、更にパワーアップしていきたいと考えています。

由布第2団



津久見第1団



カブ隊ビーバー隊では8月1日に佐伯市の番匠川で大分1団カブ隊と合同でカヌーを楽しみました。水遊びや水中生物探しはもちろんのこと、ペットボトルを使ってスローバックと呼ばれる救助道具を作り実際に練習しました。

9月12日には佐賀関の関崎海星館で星空観察会を開催しました。

写真の星は 月と土星です。

